

# 平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 穴生 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

| 主として「知識」に関する問題                             | 主として「活用」に関する問題                |
|--|-------------------------------|
| ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容            | ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力       |
| ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 | ・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力 |

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 児童質問紙調査

| 児童質問紙調査                       |
|-------------------------------|
| ○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 |

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

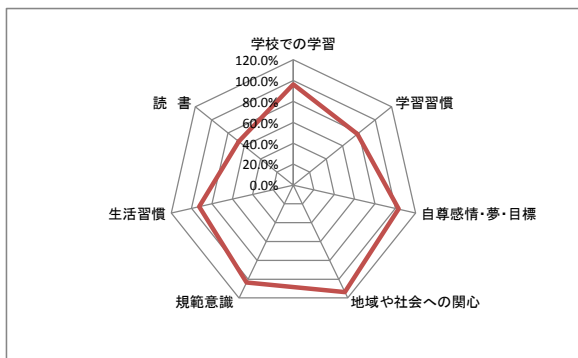
| 本年度の結果 | 国語    |       | 算数    |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|
|        | 平均正答数 | 平均正答率 | 平均正答数 | 平均正答率 |
| 本市     | 9.1   | 65    | 9.0   | 64    |
| 全国     | 8.9   | 64    | 9.3   | 67    |

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

|    |             |   |                       |
|----|-------------|---|-----------------------|
| 国語 | 全体的な傾向や特徴など | 全体的に平均正答率を上回っている。特に、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の問題の正答率が高かった。記述式の問題の正答率が下がる傾向にある。字数制限がある中で、解答することが苦手な児童が多い。 | 全国平均正答率との比較<br>上回っている |
|    | よくできた問題     | 同音異義語の漢字を文章の前後から考えて書くことができていた。  |                       |
|    | 努力が必要な問題    | 報告文を読んで分かったことを、限られた時間で書く問題に課題が見られた。   |                       |

|    |             |   |                       |
|----|-------------|---|-----------------------|
| 算数 | 全体的な傾向や特徴など | 全体的に平均正答率をやや下回っている。特に、「量と測定」「数量関係」に関する問題に課題が見られた。                       | 全国平均正答率との比較<br>下回っている |
|    | よくできた問題     | 「数と計算」の領域の問題の正答率は、全国平均とほぼ同程度か、やや上回っていた。                                 |                       |
|    | 努力が必要な問題    | 資料の特徴や傾向を読み取り、それらに関連付けて「1」あたりの量を求める問題の正答率が低かった。また、考え方を記述で答える問題に課題が見られた。 |                       |

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



| 質問紙調査の結果分析 |   |
|------------|---|
| ○          | 自尊感情・夢・目標が全国を上回っている。しかし、困難なことに立ち向かったり新しいことに挑戦しているかの項目が全国を下回っている。自尊感情が高いので、成功経験で自信を付け、学力・体力向上に結び付けていくことが必要である。 |
| ○          | 家庭学習(宿題以外の自主学習)を1時間以上行っている児童の割合が全国平均より上回っている。「家庭学習週間」の成果と思われる。  |
| ○          | 地域の行事に参加する児童が増えた。   |
| ○          | 読書量が全体的に低いので、朝の読書の時間の充実などを図り、読書への関心を高める取組が必要である。  |

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 家庭学習で、漢字のプリントや漢字ドリルを活用し定着を図る。
- 授業開始5分を利用して、フラッシュカード等を用いて反復練習を行い、新出漢字や既習の漢字の定着を図る。
- 学力アップタイムを活用し、「数量関係」や「量と測定」に関する知識・技能の定着を図る。
- 毎時間、各教科で思考力・判断力・表現力を育成する授業を行う。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- 毎月実施している「家庭学習がんばり週間」を継続して行い、自主学習の習慣を定着させる。
- 携帯・スマホの使用時間やフィルターの取付など各家庭でルールをきちんと確認し、管理を徹底する。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」を合言葉に、基本的な生活習慣の見直しを図る。